

Lion

IWATE

2017. 10

332-B 地区 アクティビティスローガン
かたい絆に思いを込めて、We Serve

● 会員増強についてメッセージ

会員数複合トップを目指して

GMT 地区コーディネーター L. 高橋 寛

森谷ガバナーの公式訪問に随行させて頂き6年ぶりに県内各地を回らせて頂きました。

沿岸地区の震災からの復興の様子やら、壇上から被災当時共に頑張ってくれた懐かしいメンバーの顔を見つけたとき、当時の景色が蘇り思わず言葉が詰まってしまう、当時のことを思うとよく解散せずに頑張ってくらぶを維持してくれたものだと感動して涙ぐんでしまいました。

震災当時私は高橋晴彦ガバナーのキャビネット幹事として被災地を見たとき、これでは沿岸地区のクラブは全て無くなってしまおうと思いました。とてもクラブ活動など出来る様な状況ではありませんでした。

当時復興支援をしてきた中で一番の心残りは、野田村の教育委員会から支援の要請があったのですが、野田村にはライオンズクラブも会員もなく当時の活動は地元メンバーを通しての活動でしたので、キャビネットとして支援出来なかったことが今でも悔やまれております。

どんなに小さな地域でも津波だけではなく大雨でも災害は起きます。その時こそ我々ライオンズクラブの出番です。

現在332-B地区の会員数は複合の中では二番目です。これをなんとかトップにしたいとの強い森谷ガバナーの思いに動かされ、微力ながら地区GMTとして会員増強の旗振り役を仰せつかりました。

震災の時でも被災地に屋台村を支援して三支部を作り80人あまりの会員を増やすことが出来たのですから、森谷ガバナーの目標10%の会員増強は決して難しい数字ではないと思います。会員が増えれば活動が活性化し楽しんでクラブ活動が出来ます。何より震災で支援してくださった全国の皆さんに、復興して会員も増え元気な姿をお見せすることが一番の恩返しではないでしょうか。332-Bがトップになった報告が出来るようみんなで力を合わせ、会員増強に頑張っている姿をライオン誌に載せようではありませんか。

ライオンズメンバーの名称は正会員、賛助会員、支部会員、家族会員等がありますが、どの会員も同じライオンズメンバーとしてカウントされます。会費もそれぞれのクラブの内規で決めることが出来ます。例会への出席義務があるのは正会員のみです。山田国際会長以来、最近出席率にはほとんどこだわっておりません。むしろ楽しくアクティビティを行うことに重点が置かれております。楽しく活動する仲間をいっぱい増やしましょう。森谷ガバナーも特別なアワードを考えているようです。ご褒美を楽しみに頑張りましょう。



●指導力育成についてメッセージ

これからの指導力育成と今後の活動



332-B地区 常任名誉顧問
地区 GLT コーディネーター L. 千葉 龍二郎

2017.6/30～7/4ライオンズクラブ発祥の地シカゴにあるマコーミック・センターを主会場に開催された第100回国際大会に参加をいたしました。羽田空港を飛び立ち、ロス経由でオヘア空港に到着、約17時間のフライトには少々疲れたが無事に到着しました。私自身国際大会には2012釜山、2013ハンブルグ、2014トロント、2015ハワイ、

2016福岡、そしてクラブの会長を務めた2002大阪大会を含め7回目となり、改めてよく参加出来たなど、つくづく思っており、これから何度参加出来るかと楽しみにしています。

さて今シカゴ大会は特別な思いで参加いたしました。と言いますのは、何と言っても記念すべき100回の大きな節目だからであります。しかもライオンズクラブ発祥の地シカゴであり、We Serveが誕生した地、メルビン・ジョーンズが世界の平和を願った地でもあるのです。

「LION」誌には、「生誕の地に3万人が集う」「100回目の変化」そして「次なる100年の第一歩」と特集が組まれており、改めてライオニズムに浸っております。

さて先日「ライオンいわて」より原稿依頼があり、久しぶりに悩んでいる所です。内容として「これからの指導力育成など今後の活動」ということなので記してみます。

個に始まり、個に帰る——

社会の仕組みは、小さい組織から大きい組織と沢山ありますが、それは家庭から始まり近隣や地区市町村から県・国・と大きくなり、世界へと結びついていきます。それぞれの組織がリーダーのもと活動して運営されていくのです。まず家庭から、まず個から発展し、最後はたぶん個に帰るのでしょうか。

我々は、まず家庭を守り発展して行く事が大きな役割だと思います。

少子高齢化に突入している社会現象は、歯止めがかからず日本の人口は50年後には7、8千万人に減少するのではないかとされているくらい非常に危惧する問題ではないでしょうか。人間同士がより良い道を選択して行く事に議論を重ねる事でしょう。

受益者2億人を目指し——

ライオンズクラブの奉仕活動は全世界に広がっていきます。その数で見ると世界212ヶ国142万人のメンバーが活動している事は、なんと素晴らしい組織でしょう。一つ一つのクラブが活発なアクティビティを行いナレシュ・アガワル国際会長が目標に挙げた1億7千万人に奉仕する事と2020年までには年間奉仕受益者を2億人にするとおっしゃいます。アガワル会長の目標に向かって実行するのが我々会員一人一人がメンバーと手を取り合い、あらゆる機会にこの活動について取り上げ実行する事と思います。

次期リーダーの育成——

ライオンズクラブの指導力育成については、多くの会員が集い、例会を中心に行動・アクティビティを活発に行い、会員が楽しく活力あるクラブを作り上げる事と思います。新会員が多くの経験を積み、多くの役職を経て次期リーダーとなる流れが、リーダーの育成でしょう。なんと言っても参加する事で継続と発展が成り立ちます。101年目に入りました。今までの100年を思い、そして次なる100年は我々の手で作って行かなければなりません。その為にリーダーの育成が最重要だと思います。

We Serve



会員拡大 —純増10%達成に向けて—

会員拡大について

会長 L. 石橋 良浩 (二戸LC)

昨年度、332-B地区から2クラブの解散があり、大変残念でなりません。会員の減少、出席率の低下が原因と聞いております。我がクラブでも正会員が36名という会員数で非常に苦しい台所事情であります。しかし少ないながらも例会および奉仕活動への出席率はとても良好でクラブ内は活気ある雰囲気にも包まれています。

私は当クラブに入会して4年目になります。入会時より毎年会員拡大を最優先課題として取り上げ続けてまいりましたが、なかなか思うように進まないのが現状です。

二戸市の人口減少（約28,000人）・少子高齢化ともう一つの団体ロータリークラブの存在が要因として考えられます。二戸ロータリークラブは会員数も多く、市内企業のトップの方が

数多く入会されており、また、市内の各青年部団体の会員もロータリークラブのご子息が多く、なかなか人選できず四苦八苦しているのが実態です。

そこで、本年度は各会員から普段お付き合いのある方々を紹介していただき、個別に声掛け活動を拡げてまいりました。その結果、賛助会員1名（来年度より正会員の予定）の入会とさらに入会のきっかけになるよう50周年式典に参加していただけるよう3名の方々に絞り込み現在お願いしているところです。いずれにしても会員拡大は非常に困難な課題ではありますが、各会員の人と人とのつながりを活かし日々努力を積み重ねることが大切なことだと思っております。





会員拡大 —純増10%達成に向けて—

我がクラブの紹介と会員拡大に向けて 会長 L. 今野 善信 (大船渡五業LC)

我がクラブは、1979年に結成されました。現在、会員は家族会員を含めて36人です。

例会は、毎月第1、第3木曜日の夜に行っています。

例会日には、集まる順番に飲み物を手に取り、飲み物に応じて決められたお金を置いて席に着きます。我がクラブ「ワンカップ例会」の始まりです。例会は、時の話題や会員スピーチを中心に進めています。「また会う日まで」

を歌い、ライオンズロアで締めるころには、「今日も良かったな」という余韻を残して閉会となります。

アクティビティは、年に数回の公園の草刈りや、献血への協力、子どもの日イベントへの協力などを行っています。仕事の関係等で例会に出席できなかった会員でも、アクティビティには参加して、一緒に汗を流しています。

東日本大震災後は、県内、県外の多くのクラブの皆さんから多大なご支援をいただきました。6年を過ぎた現在でも、被災した学校等へご支援をいただくなど、本当にありがたく心から感謝しているところです。

クラブの運営は、正会員と家族会員が一緒になって進めています。家族会員制度が導入され、ライオンレディーや会員のご子息にも入会していただきました。年々、クラブの平均年齢が上がるにつれて体調の不良や、仕事の都合などで退会する方もありました。その上、入会さ



れる方は少ないという状況でしたので、家族会員制度には救われました。現在、我がクラブの運営は、家族会員にも役員になっていただき、経験豊富な会員と家族会員の行動力が織りなす形で進められています。

今後のクラブの運営を考えると、会員の増強はクラブの存続にかかわる大きな課題です。これまで、ライオンズクラブが社会奉仕してきたさまざまな活動を振り返り、会員が誇りをもつて語る。また、楽しく、充実感を味わうことのできる例会を毎回実現するように努めること。そして、新会員や家族会員などの新しい人とのつながりから、新たな会員の入会に結び付けていく好循環が生まれることが望ましいと思っています。

会員一人ひとりの考えや思いを大切に、参加意欲が高まるクラブ運営に努めていきたいと思えます。

我がクラブも次年度40周年を迎えます。



会員拡大 —純増10%達成に向けて—

ライオンズの心について

会長 L. 三上 誠 (盛岡観武LC)

ある建築家の書かれていた文を読んだことがあります。短い文章でしたが、大変心を打たれるものでした。

その建築家が設計した建物の工事が進み、内装工事も終わりに近づいた頃、たまたま休みの日に、ふらっと現場に行ってみようと思った。誰もいないはずと思って現場に足を踏み入ると、意外にも人の気配がしました。不審に思って近づくと、そこには職人さんとその家族がお弁当を広げていたそうです。その家族は、食事を終えたとしばらくそこにいて、そして静かに立ち去ったそうです。

この本を読んで感動しました。まず、その職人さんが本当に満足する仕事をしたこと、それを家族に見せたいと思ったこと、そして家族もそれを共に喜び、誇りに思ったに違いないことが、次々と浮かんでまいりました。

自分自身に置き換えてみると、仕事が終わったらそれで終わりでも何も残りません。そこで何かないかと考えて、たどりついたのがライオンズであります。

ライオンズと共に歩むことで、今まで自分の生きてきた集大成として形を成し、その足跡を残せるのではないかと。

しかし、素晴らしいウィ・サーブの精神を学び、名を残す事よりも、少しでも若い人達にこの心を伝えていくことが、今自分のすべきことではないかと感じました。

仲間（会員）達とライオンズについて存分に話し合い、信頼意識を深めながら、会員増強に努力していくのは勿論のこと、若い世代との交流の機会を逃さずに、ライオンズの素晴らしさを伝え、入会を勧めて参りたいと思います。

ウィ・サーブ



ク/ラ/ブ/紹/介

地域と共に、継続は力なり!!

2R1Z 会長 L. 藤原 泰雄 (石鳥谷LC)

会員67名で本年度スタートしました。重点活動「青少年健全育成」アクティビティ

- 1、7月8日～9日、野外活動を通し学校や地域子供会のリーダー研修として1泊2日で花巻市内小学校の児童60名を対象に地元戸塚森森林公園にて花巻市青少年育成市民会議主催の「サマーキャンプ in 戸塚森」に11年間継続協賛。
- 2、8月8日生涯学習会館において、書道を通じて豊かな人間形成の推進を目的とし、石鳥谷芸術文化協会主催、石鳥谷町書道会主管で町内小・中学生を対象に(約90名参加)「第45回石鳥谷町書道大会」が開催され、後援として石鳥谷ライオンズクラブ賞を協賛いたしました。
- 3、8月27日晴天の中継続共済事業16年目になりますが、地元児童養護施設、清光学園様が中心になり県内7施設の児童及び職員の交流を目的に岩手国体会場にもなりました石鳥谷ふれあい運動公園にて「児童福祉施設ふれ

あいソフトボール大会」を開催。花巻市長、教育長様をはじめ約210名の参加により、小・中・高生の部を4コート一斉に開始いたしました。

優勝チームには石鳥谷LC優勝旗、優勝杯、トロフィーが授与されました。

- 4、ライオンズ奉仕デー(10月8日)にあわせて石鳥谷レオクラブ(花北青雲高校)との合同清掃活動の実施。

雨にもかかわらず佐藤校長先生、レオクラブ顧問の先生(2名)レオクラブ会員15名、石鳥谷LC10名にてJR石鳥谷駅舎、トイレ、地下道等の清掃を実施いたしました。

その後レオクラブ例会、焼肉昼食会を実施し、レオクラブ会員との交流を深めました。駅周辺はピッカ～!!昼食会で全身焼肉のにおい～!!

51ライオンズクラブ、1ライオネスクラブ、5レオクラブの更なるご活躍をご祈念申し上げます。

“楽しく” また合う日まで♪♪



ク/ラ/ブ/紹/介

楽しく集えるウイ・サーブ

2R1Z 会長 L. 高橋 七郎 (矢巾LC)

矢巾ライオンズクラブ所在地、矢巾町を紹介したいと思います。県都盛岡市の南側に隣接する、人口 27,321 人、面積が 67.32km² 県内 2 番目の小さなコンパクトな町です。

矢幅駅東西の区画整理事業が完了し、10年前から岩手医科大学総合移転に伴い校舎は完成、現在新附属病院を建設中で平成31年9月に開院予定であり、また、敷地内には県立支援学校及び県立療育センター建設中。ホテル、ショッピングモールなども予定、学生、教職員、出入り業者、入院患者、外来患者、お見舞いの方々を入れた交流人口は 8,000 人と、県内で人口増加と元気のある町とされています。

当クラブは紫波ライオンズクラブのスポンサーのもと1981年12月13日に結成いたしました7年目を迎え、この度、会長に推挙され、今年度の矢巾ライオンズクラブテーマを「楽しく集えるウイ・サーブ」と決め、楽しい例会やアクティビティに集えること、また、メンバーの皆様と協力しながら奉仕活動すると、思いを込めてテーマを決めました。

7月に就任し3ヶ月過ぎましたが、就任早々矢巾町福祉・子ども課から相談したい件があるとの要請から7月21日午後1時に三役で訪問し、いろいろな話を聞くことが出来ました。

内容は矢巾町地域福祉計画を作成「やさしさと思いやりで満ちた福祉のまちづくりを目指す」とのことでした。説明の中に高齢者や障害者のみならず、生活困窮者や多くの子どもを抱えているひとり親世帯が増加している。矢巾町が住みやすいのか、仕事先が近くに在るためなのか、



他の市町村から転入者が多くあり、盛岡に近く暮らしやすいとのことでした。

要請内容

- 1、社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会が取り組んでいる、ひとり親世帯を対象に毎月1回開催している「ここかむ食堂」12月開催予定クリスマス昼食会に食材を15～16分の寄贈申し入れがありました。
- 2、生活に困っている方々や児童施設にお配りする、賞味期限が1ヶ月以上の食料品（フードドライブ）寄贈申し入れ、（フードバンク岩手）特にも、児童生徒が夏休み・冬休みの期間は学校給食が無くなるため食事に大変困るとの事でした。休みに入る前7月上旬と12月上旬に受けたいとの要望があり、今年12月上旬に提供出来るよう啓もう活動を始めた所です。

以上、多くのライオンズクラブメンバーの協力を望む We Serve

薬物乱用防止教室開催

陸前高田ライオンズクラブ



8月30日、陸前高田市立高田東中学校全校生徒192名を対象に薬物乱用防止教室を開催。東中学校は、震災後に3地区の中学校が合併して出来た学校で、昨年モダンな新校舎が落成し、その体育館での教室となった。

始めに薬物の特徴などをまとめたビデオにて意識付けをし、続いて我がクラブの講師 L.伊藤勇一による講話が行われた。L.伊藤は改めて薬物の怖さに触れた後、普通に使っている薬も使い方を間違えると危険であることや、酒・たばこの有害性についてもクイズを出しながら解りやすく説明。ま



クイズに答える生徒

た、「つらい事や嫌な事から逃げ出すために薬物に手を出すケースが多いので普段の生活を楽しく、充実させるためにも、学校行事や部活動に目標をもって励んでほしい」と生徒に呼びかけ、最後に「薬物はダメ。絶対ダメ」と全員で唱和して終了した。

震災後2回目となる今回の教室。後で全校生徒から頂いた感想文を見ると、2～3年生は忘れていた生徒もあり、何度も繰り返すことが重要かと感じた。そして1年生は初めてなので新鮮な感想が多かった。印象に残ったのは、父親がたばこを吸う家庭の子が家でも話題にしていたことがとてもよかったと思う。家族ぐるみで薬物に注意することが日常であれば乱用することもないだろうと思う。

子供から大人への成長期の脳に致命的な影響を及ぼす麻薬や危険ドラッグが人生を棒に振ることになるということを理解してもらうためにこれからも学校と協力して継続していかなければならない。

薬物乱用絶対ダメ！

陸前高田L.C.が教室

高田東中

陸前高田市の陸前高田ライオンズクラブ(長谷川利昭会長)による薬物乱用防止教室は29日、米崎町の高田東中学校(尾野賢寿校長、生徒1933人)で開かれた。生徒たちが、教室を通じて薬物の危険性を学んだ。

青少年の健全育成に取り組む同クラブの事業の一環で、同校での教室は昨年に続いて2回目。子どもから大人へと成長が著しい10代の脳に、麻薬や覚醒ドラッグが致命的な影響を及ぼすということを知ってもらおうと、全校生徒を対象に実施した。

はじめに薬物の特徴などをまとめたビデオを放映。

続いて、同クラブの薬物乱用防止教育講師の伊藤勇一さん(但)による講話が行われた。

伊藤さんは改めて薬物について触れたほか、酒やたばこの有害性についてもクイズを交えながら説明。「つらいことや嫌な事から逃げ出すために薬物に手を出すケースが多い。普段の生活を楽しく、充実させるためにも、学校行事や部活動に目標を持って励んでほしい」と呼びかけ、最後は全員で「薬物は

ダメ、絶対」と声を合わせていた。
 青山隆生君(2年)は「薬物の危険性について詳しく学んだ。普段に処方される薬も使い方を間違えると危ないことを知った。今後はさらに正しい使い方を意識していく」と話していた。



レディースの奉仕活動

西根ライオネスクラブの奉仕活動について

西根ライオネスクラブ会長 遠藤 純子

来年で、結成29年をむかえます。

現在、会員は13名、歳などを意識することはなかったのですが、活動がすこし狭まってきたように思うのは、ちょっと寂しい。

しかし、毎月一度の例会は、茶のみ友達の集まりのようにおしゃべりで賑やかです。

年度はじめの事業計画は、スポンサーである西根ライオンズクラブとの連動で活動がはじまります。我々は西根ライオンズクラブに100%協力を致します。

まず、ライオンズクラブの早朝例会には、前日に作った朝食用豚汁を40名分くらいふるまいます。また、市のイベントに加わり、献血運動のプラカードを持ちながら大きな声で呼びかけます。焼走りマラソン全国大会では、2000名ほどの参加者に完走証を交付します。ネスクラブ独自の活動では、地元の老人ホームを慰問し、入所者の方にお化粧を施してあげたり、ライオンのメンバーに、大きなサイズの型枠を作ってもらい、紙芝居を披露したり、生徒の協力で郷土芸能を見せたり、施設で使う無印タオルを150枚くらい寄付しました。他に、古切手の収集等々。

昔、ちょっと若かりし意気盛んな頃、仙台で開催された、ライオネスフォーラムにおいては、ほかのクラブとの交流をしたことで、見分



を広げるよいきっかけになりました。

今思えば懐かしい思い出ですが、我々もクラブと共に成長したかもしれない。

また、向かうもの敵なしの勢いが、大阪の国際大会に参加を決めた時、ライオンのみなさんがとても心配しておりましたが、我々はみんなで行けば怖くないの気持ちがエスカレートし、地下鉄から大阪ドームに乗り込んだ時の感動は今でも忘れない。世界ブランド、ライオンズクラブだーと感動致しました。今では懐かしい思い出ですが、これからもこんな感じで頑張りたいと思っております。

我々は、今後、考えねばならないことがいっぱいある中で、活動がとても楽しいということをどの様にして伝えれば理解してもらえるのか、それが問題です。

役員などを引き受けるとき、困惑と、重圧でつらい年を過ごすのかと、気持ちがおもくなります。でも、年次大会の時、それぞれの

イメージの制服を着て、ライオンズクラブの歌をうたうとき、心が高揚し、晴れやかな気持ちになるのです。そして、今年も頑張ってみようかなと、・・・控えめにおもうのです。



レディースの奉仕活動

花巻東LC レディースの会について

花巻東LC レディース委員長 筒井 洋子

花巻東LCのレディースの会発足のきっかけは、当クラブよりガバナー候補が選出された時から始まりました。そして山田實紘元国際会長が掲げていた「命の尊厳」「ライオンズの使命」を追求し、奉仕を通して希望と尊厳、そして友情と支援の手を差し伸べていきたいと思います」とのお言葉に感化されました。

当初、私達は、クラブの皆様とお会いする機会は年に一度の「クリスマス家族会」くらいのものでした。それではいけない事にレディースの皆様も気づき、一番初めに山田国際会長のシンボルの「折り鶴」を私達で作ろうと考え、菅野和子Lの指導の下、332-B地区第62回年次大会の祝賀会テーブルに飾りました。その作成に2～3度と集まり、立派で大きな「変り折り鶴100羽」が出来上がりました。素晴らしい出来映えと自負しております。

又、花巻は宮沢賢治の生誕の地、賢治作の「精神歌」「星めぐりの歌」は当市では聞き慣れた歌ですが、年次大会の折に皆様に聞いて頂きたい一心で一度だけの練習のみでしたが、恥ずかし乍ら舞台に立ち、一生懸命歌いました。

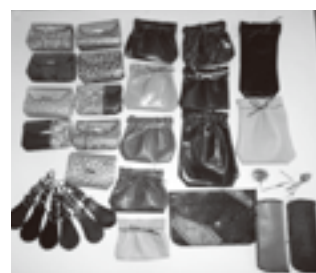
こんな事をして、何度かレディースの皆様とお会いする機会も増え、次に考えたのは、筒井キャビネットスローガン「家族と共にアクティビティ」テーマ「思う心 それを行動に！」この言葉に私達レディースで答える事はないか？



花巻東LCレディース作業風景

そこで、市内の「清光学園」ここは、親が有形ながらも色々な事情で一緒に暮らせない子供達2歳～17歳までの施設です。ここの子供達に何か喜んでもらえる事をしようと始めたのが、今、私達レディースの会が一番自慢出来る事、手作り品の作成に繋がっています。

会員一人一人が一生懸命目的に向かい、資金になる様な作品が出来て来までになって来ました。それが「革細工」で、サイフ・



ブローチ・メガネ入れ等々、会員の指導で始まり、初めはなかなか苦勞致しましたが、今では自慢出来る作品が出来の様になりました。

「清光学園」との連絡は当時会長の菅野Lに窓口になって頂き、これが助かりました。

最初は、作品の売上益金11万円を寄付し、次には菅野会長の案「子供達を外に連れ出そう」に応え、志戸平温泉のプールと昼食を計画し、バスにて送迎を行い43名の子供達から笑顔をもたらすことが出来、私達レディースの会員全員も笑顔でした。

この事業は二年連続で続けておりますが、また子供達の笑顔を見るには、やはり資金が必要で、最近では月に1～2回集まり、制作を続けております。

10月には鍛冶丁焼工房で「売れる製品を」モットーにレディース会員一生懸命頑張っております。次に販売先を考える事も課題の一つです。

このような活動が出来るとも常に陰ながら支えて下さっている花巻東LCの皆様のご協力に感謝をもって、これからもレディースの会一同頑張りたいと思っております。

子供達の笑顔をみるために・・・

レディースの奉仕活動

レディースの奉仕活動について

釜石ライオンズクラブ レディース



特別養護老人ホーム「あいぜんの里」に於ける
奉仕活動を36年継続している



入所者様のお話し相手や
お茶タイム時の配膳等長年にわたり行う

9月のアクティビティ

1 R 1 Z		
盛岡LC	2日	アイバンク街頭PR活動
	6日	LCIF\$1000献金
	7日	盛岡レオクラブ協力金
盛岡不來方LC	2日	アイバンク街頭PR活動
盛岡中津川LC	2日	アイバンク街頭PR活動
盛岡観武LC	2日	アイバンク街頭PR活動
	10日、24日	こども食堂
	20日	献血推進活動
	25日	LCIF\$1000献金
盛岡南LC	2日	アイバンク街頭PR活動
滝沢LC	10日	滝沢市柔道協会長杯少年柔道大会
	21日	献血推進活動
玉山姫神LC	—	
1 R 2 Z		
二戸LC	6日	私の主張二戸地区大会
	22日	薬物乱用防止教室
西根LC	16日、17日	ライオンズカップ争奪少年サッカー大会
	16日	むらさき苑長寿を祝う会
	17日	西根・松尾・安代学童相撲大会
	21日、23日	献血推進活動
安代LC	—	
2 R 1 Z		
花巻LC	5日	わたしの主張 花巻大会
	24日	こぶし苑「ふれあいの里まつり」
紫波LC	5日	ペットボトルキャップの回収
	19日	ガールスカウト岩手県第11団へ活動費助成
	26日	LCIF\$1000献金
石鳥谷LC	5日	わたしの主張 花巻大会
	13日	献血推進活動
花巻東LC	9日	被災地応援 買い物バスツアー
	12日	レディース委員会
東和猿ヶ石LC	—	
矢巾LC	6日	矢巾町総合グラウンドの環境整備と周辺清掃
	20日	ライオンズ庭園の樹木の手入れと周辺清掃
	25日	LCIF\$1000献金
2 R 2 Z		
北上LC	8月1日~31日	資源回収リサイクル活動
	1日	献血推進活動
	4日	ゾーン内チャリティゴルフコンペ(事業資金獲得)
	10日	アジサイ剪定作業
	14日	LC活動のPR宣伝として看板設置
	26日、27日	北上レオチャリティバザーに品物提供
和賀LC	1日	献血推進活動
	10日	アジサイ剪定作業
	14日、19日	資源回収リサイクル活動

北上国見LC	4日	ゾーン内チャリティゴルフコンペ(事業資金獲得)
	10日	アジサイ剪定作業
江釣子LC	4日	ゾーン内チャリティゴルフコンペ(事業資金獲得)
	10日	アジサイ剪定作業
	10日	献血推進活動
	26日	サッカー観戦チケットを地元小中高生へ贈呈
3 R 1 Z		
水沢LC	9日	後藤新平像周辺の清掃作業
	21日	LCIF\$1000献金 2件
江刺岩手LC	12日	LCIF\$1000献金
前沢LC	17日	献血推進活動
水沢中央LC	5日	「薬木園」草取り、剪定、周辺清掃
	25日	水沢区花いっぱいコンクール審査
金ヶ崎LC	15日	使用済み切手 2400枚送付
	21日	ひかりの箱 募金箱設置
胆沢岩手LC	9日	胆沢岩手LC旗争奪少年野球大会の開催
	10日、17日、18日	胆沢区敬老会
	29日	秋の交通安全運動 一斉街頭指導
3 R 2 Z		
一関LC	2日	リレーフォーライフジャパン2017 いわてウォークイベント
平泉LC	8月29日	献血推進活動
	10日	「弁慶の森」草刈・剪定作業
	17日	米寿の方々へ記念品贈呈
花泉LC	28日	LCIF\$1000献金
	2日、3日	リレーフォーライフジャパン2017 いわてウォークイベント
	5日	カーブミラー清掃
一関中央LC	2日	リレーフォーライフジャパン2017 いわてウォークイベント
	10日	献血推進活動
一関蔵美溪LC	20日	アウトドアクロック2面式 一関市立蔵美小学校に寄贈
	24日	蔵美溪畔及び溪畔案内板周辺草刈
4 R 1 Z		
千厩LC	4日	特養老人ホーム千寿荘散髪奉仕
	12日、13日、14日、15日	一関市千厩地区敬老会参加
	25日	秋の交通安全運動街頭指導
	27日	薬物乱用防止講座開催
大東岩手LC	15日~21日	大東地域敬老会で記念品贈呈
東山LC	1日	東山小学校50周年記念
藤沢岩手LC	—	
川崎岩手LC	20日	川崎特養老人ホーム敬老会
	22日	川崎地域の主要道カーブミラー 80基清掃作業
室根LC	10日	孝養ハイツ敬老会で記念品贈呈

4R2Z		
大船渡LC	21日	ライオンズ農園作業
	23日	ライオンズ農園収穫野菜を大洋学園に届ける
	25日	せきわいの会 声の図書館の点検と整備
陸前高田LC	8日	ひかりの箱募金
	14日、15日、17日	敬老の日「米寿の方に記念品贈呈」
住田LC	13日	LCIF\$1000献金、LCIF\$20献金
	20日	ライオンズの森草刈作業
	21日	交通安全運動
大船渡五葉LC	1日	MOA美術館気仙地区児童作品展協賛
5R1Z		
宮古岩手LC	—	
久慈LC	8月28日	わたしの主張久慈地区大会
	3日	三船十段杯柔道争奪大会後援
	7日	共同募金委員会
陸中宮古LC	6日	レディの会奉仕活動
	10日	献血推進活動
	19日	百獣の王ライオンコンペ(事業資金獲得)
	21日	秋の交通安全運動街頭啓発活動
田野畑LC	—	
岩泉龍泉洞LC	1日～30日	無料ランドリーの管理
	12日、26日	ライオンズ花壇の整備
5R2Z		
釜石LC	20日	第435回LL奉仕活動
	10日	ラグビーワールドカップ 釜石開催支援連絡会

遠野LC	8月29日	わたしの主張遠野地区大会
	6日	障がい者施設支援リサイクル品の回収
釜石リアスLC	19日	使用済み切手 1000枚送付
大槌LC	18日	仮設住宅入居者へ奉仕活動 布団乾燥等
陸中山田LC	17日	よさこいソーランAOMORI花嵐櫻組演舞会
	24日	陸上自衛隊山田分屯基地 創立60周年記念式典
ライオネスクラブ		
西根LS	16日	むらさき苑長寿を祝う会
レオクラブ		
盛岡LEO	—	
石鳥谷LEO	—	
北上LEO	30日	北上コンピューターアカデミー 学園祭チャリティバザー
一関二高LEO	24日	一関市ハーフマラソン大会運営協力
釜石LEO	—	



会 員 動 向

9月 新入会員一覧

クラブ名	会員名 (新入/再入/転入)
盛岡LC	伊 藤 以久子
	工 藤 和 子
盛岡不来方LC	中 瀬 輝 雄
盛岡観武LC	阿 部 吉 治
	佐々木 弘 光
	玉 熊 昌 俊
盛岡南LC	猿 舘 伸 威
	八重樫 満 子
	山 口 悦 子
	吉 田 善 広
北上LC	伊 藤 文 洋
水沢LC	伊 藤 淳
	及 川 和 人
水沢中央LC	千 葉 健 作
一関中央LC	杉 浦 秀 次
千厩LC	佐 藤 恭 一
住田LC	神 田 謙 一

9月 LCIF\$1000 献金

クラブ名	会員氏名	MJF 回数
盛岡LC	宮 田 謙	14
盛岡観武LC	高 橋 幸 雄	1
紫波LC	諸 岡 勝 正	2
矢巾LC	斉 藤 秀 造	17
水沢LC	千 葉 龍二郎	13
	後 藤 新 吉	1
江刺岩手LC	千 田 稔	4
平泉LC	鈴 木 穂嘉実	11
住田LC	佐々木 松 久	2

訃 報

一関中央LC
故 L. 佐藤 忠一

享年69歳
9月29日 逝去





アクティビティ フォトグラフ



編集後記

住田ライオンズクラブに入会して8年。入会のきっかけは亡き父もライオンズクラブに入会していたのでその影響が多分にあります。今年度住田ライオンズクラブから森谷ガバナーが誕生して、キャビネット役員の一員としてライオンいわての編集に参画しています。何分にも文章を書くとかまとめるのはあまり得意ではありません。ペンよりもグラスを持つのなら大いに貢献できると思うのですが、各編集委員さんの足手まといにならないように関わりながら、10月号も完成に漕ぎつきましたのでよろしくお祈いします。
(編集委員 L.阿部祐一)

《表紙の写真》 穴通し磯

三陸・大船渡の碯石海岸は、雄大な海蝕地形で知られるリアス海岸の中でも特に断崖や洞門、洞穴など変化に富んだ景観となっています。その中でも穴通し磯は3つの洞門を持つ奇岩で、自然の造形の巧みに驚かされます。

また、この穴を小型の観光遊覧船でくぐり抜けることができます。ぜひ体験してみてください。

ライオンズクラブ国際協会332-B地区 キャビネット事務局

ライオンいわて編集委員会

発行：2017年10月25日

発行人：L.森谷 潤
編集委員長：L.熊谷千洋
副委員長：L.瀧本正徳 L.金野廣勝
編集委員：L.阿部祐一 L.新沼章一 L.千葉弘志
L.高橋哲郎 L.大阪佐智夫

印刷：タクミ印刷株式会社
〒029-2205 陸前高田市高田町字法量68-1
Tel 0192-55-2178 fax 0192-55-5187
E-mail : takumi2@aurora.ocn.ne.jp

キャビネット事務局：〒020-0022
盛岡市大通三丁目6-12 開運橋センタービル4-7号
Tel 019-621-1415 fax 019-621-1420
E-mail : morioka-cab332b@almond.ocn.ne.jp